

6月12日は県民防災の日

日ごろの備えが肝心

いざというときに備えて

宮城県では、昭和53年6月12日に発生した宮城県沖地震を教訓に、6月12日を「県民防災の日」と定めました。市では毎年、6月12日に総合防災訓練を実施し、災害に対する備えと意識の向上を図っています。

宮城県沖地震の後も、日本各地で大規模な地震が発生し、家屋の倒壊や土砂崩れなどで多くの人々が被害を受けています。平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災をはじめ、私たちの身近では平成15年7月26日に発生した宮城県北部地震、最近では平成16年10月23日に発生した新潟中越地震や平成17年3月20日に発生した福岡西方沖地震と、まさに「地震国・日本」を象徴しています。

また、地震だけではなく台風や大雨による風水害、火山の噴火による火砕流や火山灰による被害など、さまざまな自然現象により被害を受ける可能性があり、行政による危機管理はもろろんのこと、地域における危険箇所や介助が必要な世帯の把握など、地域ぐるみでの自主的な防災意識の向上が必要

となります。

さらに、大きな災害が発生した場合、電気や水道などが使用できなくなる可能性があります。復旧には数日間かかる予想されることから、最低3日分の食品や水、燃料などといった備蓄品を準備し、災害発生後の数日間は自足できるように、非常持ち出し品とあわせて備えておく必要があります。



▶写真は、平成7年1月の阪神淡路大震災での被害状況
(撮影・仙南消防本部水戸消防課長)

地域ぐるみで災害対策

大災害が発生したとき、道路や橋が損壊して交通網が寸断されるとともに、地震が発生したときは火災も同時に多発するため、災害の規模によっては市役所や消防、警察などの救援活動が迅速に行えない可能性があります。

そこで、力を発揮するのが「地域ぐるみでの協力体制」です。実際に阪神淡路大震災において、被害の拡大を防ぎ、その後の復興にも大きな影響を与えたのは市役所や消防署ではなく、地域の皆さんの自発的な救出、救助活動でした。

これを組織として活動していくことを「自主防災組織」と呼んでいます。

田町自治会で「防災マップ」を製作

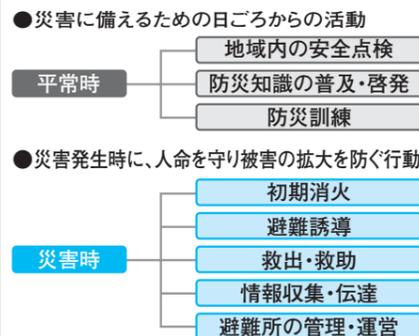
昨年、田町自治会では地区内の防災拠点や災害危険区域を表示した「田町地区防災マップ」を製作しました。

これは、地区内に一人暮らしの高齢者が多く居住されていることなどから、自治会が自発的に製作したものであり、地域内の安全点検、防災知識の普及・啓発活動の一つです。マップには、避



難場所はもちろんのこと、消火栓や防火水槽、浸水危険区域やブロック塀の危険箇所などがイラストで表示されています。

自主防災組織の役割



現在、各地区に組織されている「婦人防火クラブ」は、「火災」という一つの「災害」に対する自主防災組織の一つと言えるでしょう。

準備しておく非常持ち出し品は？

非常持ち出し品は家族構成により必要な分を用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。また、災害発生時に最初に持ち出す非常持ち出し品と、復旧するまでの数日間は自足できる非常備蓄品をわけて準備しておきましょう。

■非常持ち出し品チェックリスト

チェック欄	品名
<input type="checkbox"/>	非常食(カンパン、缶詰など)
<input type="checkbox"/>	飲料水
<input type="checkbox"/>	携帯ラジオ(予備の電池を含む)
<input type="checkbox"/>	懐中電灯(予備の電池・電球含む)
<input type="checkbox"/>	ろうそく
<input type="checkbox"/>	ヘルメット(防災ずきん)
<input type="checkbox"/>	ライター(マッチ)
<input type="checkbox"/>	ティッシュ
<input type="checkbox"/>	タオル
<input type="checkbox"/>	ビニール袋
<input type="checkbox"/>	上着
<input type="checkbox"/>	下着
<input type="checkbox"/>	軍手
<input type="checkbox"/>	救急医薬品(傷薬・絆創膏・解熱剤・風邪薬・胃腸薬・目薬など)
<input type="checkbox"/>	常備薬
<input type="checkbox"/>	貴重品(預貯金通帳・印鑑など)
<input type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	健康保険証のコピー
<input type="checkbox"/>	住民票のコピー
<input type="checkbox"/>	缶切り・栓抜き・ナイフなど
<input type="checkbox"/>	ビニールシート
<input type="checkbox"/>	生理用品・紙おむつ・ほ乳びんなど

■非常備蓄品リスト

チェック欄	品名
<input type="checkbox"/>	食品(缶詰・レトルト食品、ドライフーズや栄養補助食品など)
<input type="checkbox"/>	食品(調味料・スープ・みそ汁など)
<input type="checkbox"/>	食品(チョコレート・のど飴・梅干しなど)
<input type="checkbox"/>	水(おとな1人当たり:1日3ℓ)
<input type="checkbox"/>	燃料(卓上コンロ・固形燃料・予備のガスボンベなど)
<input type="checkbox"/>	毛布・タオルケット・寝袋など
<input type="checkbox"/>	洗面用具(歯ブラシ・石けん・タオル・ドライシャンプーなど)
<input type="checkbox"/>	鍋・やかん
<input type="checkbox"/>	簡易食器(わりばし・紙皿・紙コップなど)
<input type="checkbox"/>	ラップ・アルミホイル
<input type="checkbox"/>	ウェットティッシュ・トイレトペーパー
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ・マスク・新聞紙・裁縫セットなど
<input type="checkbox"/>	簡易トイレ
<input type="checkbox"/>	予備のめがね・予備の補聴器など
<input type="checkbox"/>	自転車
<input type="checkbox"/>	工具類(ロープ・ボール・スコップなど)

※食料は、非常食3日分を含む数日分を最低限備蓄してください。また、飲料水も最低3日分を用意してください。

最低限そろえておきたいもの

非常時出品

【 懐中電灯 】

できれば1人にひとつ用意。予備の電池と電球も忘れずに用意してください。



【 携帯ラジオ 】

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。予備の電池を多めに用意してください。



【 非常食・水 】

カンパンや缶詰など、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトルが便利です。乳幼児がいる場合は粉ミルクなども忘れずに用意してください。



【 貴重品 】

現金や預貯金通帳、印鑑、健康保険証・住民票のコピーなど。現金は公衆電話の利用を考えて10円硬貨を用意しておくとう便利です。



【 救急医薬品 】

傷薬・絆創膏・解熱剤・風邪薬・胃腸薬・目薬などのほか、常備薬があれば忘れずに用意してください。



【 その他 】

ヘルメット(防災ずきん)、上着、下着、タオル、軍手、紙の食器、ライター(マッチ)、缶切り、栓抜き、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、生理用品、紙おむつやほ乳びんなど。



平成17年度

白石市総合防災訓練を実施します

市では、昭和53年6月12日に発生した宮城県沖地震、さらに平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災を教訓として、地震災害を想定した総合防災訓練を実施します。

会場では、避難訓練、初期消火訓練、救護訓練などを行いますので、ぜひご参加ください。

●日時 6月12日(日) 9時～
●会場 白石第一小学校
※当日9時に市内一斉にサイレンや鐘を鳴らし、訓練の開始を市民の皆さんにお知らせします。
◎生活環境課 ☎22-1314

